



覚法寺本堂改築工事状況
第1回目
解体が始まりました



季刊

覚法寺

〒862-0956
熊本市中央区水前寺公園1-25
電話 (096) 383-4874
FAX (096) 383-3050
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp
http://www.facebook.com/kakuhouji

季刊誌今号より、本堂改築の状況をご報告していきます。2025年に入り本堂と旧納骨堂と庫裏の解体作業に入りました。

覚法寺は周りが道路や建築物に囲まれていますので、解体作業にいきなり大きな重機を使用して、豪快に進めていくという事が困難なため、容易ではありません。地道に丁寧な作業を進めておられます。

そのようなことから、見た目には大きな変化を感じにくいかもしれませんが、毎日見ていると日に日に作業が進んでいるのが分かります。

建物の内側は内装や壁がなくなり、もはや昔の面影がわかりません。骨組みだけになりました。

予定では夏までに解体が終了し一旦更地になり、夏より一年をかけてエレベーター付きでバリアフリー化された持続可能な新本堂を建設いたします。

※解体作業が終了するまでは、駐車場からお寺の中を通り抜けできませんので、大変ご不便をおかけいたします。解体作業が終了いたしましたら、再び通り抜けができる予定です。

ご本尊は本山からお迎えしましょう

ご本尊について
のお問い合わせ

参拝部 075(371)5181 まで
覚法寺 096(383)4874 まで



住職雑記

先日、仏教壮年会のプロック大会に参加させていただきました。大会の研修会にて「ネガティブ・ケイパビリティ」という言葉を知りました。直訳すれば「消極的能力」となりますが、これでは意味が分かりません。この言葉に秘められた本来の意味は、「解決できないことや、容易に答えられないこと、不確実性を受け入れる能力」の事だそう。人生で良いことばかりが続けばいいのですが、そうでないのが人生です。人はすぐに問題を解決して楽になろうとしたりしますが。しかしうまく解決できないことは沢山あります。そして解決できずに苦しんでしまうのが人間です。そこで「ネガティブ・ケイパビリティ」は、解決を急がず、不確実性に対して臆することなく、状況を受け入れる能力のことで、複雑な問題にも落ち着いて柔軟に対応できるようにになります。▼仏壮のキャッチフレーズに「うなずいてくれる友がいます」とあります。解決を急がず課題に向き合い、寄り添い、語り合い、共有していくという事に繋がるかと思えます。▼仏教壮年会や仏教婦人会の熊本教区の研修会では、沢山のお話を聞く機会が提供されています。まずは覚法寺の仏教壮年会や仏教婦人会にご参加ください。

御正忌報恩講御門主様法話

本年も、ようこそ御正忌報恩講にご参拝くださいました。

昨年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」から1年となりますが、被災地においては、9月に豪雨による災害も発生しました。また、液状化による被害は福井県・富山県・新潟県などにも及んでいます。地震並びに豪雨の犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な日常を取り戻されますことと、このような時にこそ、寺院をはじめとする宗教施設が心の依りどころとなつて、皆さまのお力になれることを願わずにはられません。

また、発生から1週間を過ぎたアメリカ合衆国・ロサンゼルス近郊の山火事は、合衆国史上最悪の自然災害とも報じられています。北米開教区の寺院メンバーにも家屋焼失の報告があります。延焼が続いていますが、一刻も早く鎮火することを願っております。

さらには、2022年2月に始まったロシア連邦によるウクライナ侵攻はいまだに続いており、2023年10月以来の中東における武力衝突でも多くの犠牲者が出ています。私たちは仏教徒として、「すべての者は暴力におびえ、すべての者は死をおそれる。己が身にひきくらべて、殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ」(『ダンマパダ』第129偈)というお釈迦さまのお言葉、また「世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ」(註

釈版聖典784ページ)と願われた親鸞聖人のお言葉を大切にし、争いのない平和な世界の実現を目指してまいりたいと思います。

本年は第2次世界大戦の終戦から80年となります。私たちの宗門も仏法の名において、

この戦争にさまざまな形で協力をしました。戦後は、その反省に立った歩みを、果たして十分に進めているといえますでしょうか。また、宗門では、戦争だけでなく、差別を肯定し、それを温存・助長するような法話なども行われてきました。

阿弥陀如来のご本願を聞く私たちは、そのおはたらきによって、私たちの真実の姿、すなわち、命が終わるその時まで煩惱をなくすことのできない自己中心的な私であることを知らされています。そうであるからこそ、社会に迎合し、戦争や差別的政策に協力することの愚かさを知り、時代によって変わることをない、阿弥陀さまのご本願による念仏者の生き方を志すことができます。

終戦80年の年の御正忌報恩講にあたり、あらためて、私たちの生き方を問い直し、念仏者としての歩みを進めてまいりました。今日はようこそお参りくださいました。

本願寺新報2025(令和7)年2月1日号掲載



御正忌報恩講法話

得度習礼を終えて

現在龍谷大学一年生の昭讀くんは、二月六日から二月十六日の十日間、京都の西山別院にて得度習礼を行いました。得度習礼では、朝早くから掃除、日中から夕方までは着付けや読経を行い、僧侶としての在り方を基礎からしっかりと学び、厳しい日程を終えて無事僧侶とならせていただきました。三月からは大学の方も春休みとなり京都から熊本に帰省をし、実際にご門徒様のお宅へとお参りに行かせていただきました。

これもご門徒様みなさまのお支えがあつたのことと思います。これからも皆様とともに仏道を歩ませて頂きたいと思っております。

ダーナ基金だより

日頃よりダーナ基金へご協力ありがとうございます。二月七日の「ダーナの日」に一年間の集計をしました。ダーナ募金額は146,107円集まりました。本願寺「子どもたちの笑顔のために募金」は31,724円集まりました。今回は能登半島地震関連として、本願寺たすけあい募金「能登半島地震災害義援金」へ5万円をダーナ募金より寄付致しました。また、本願寺「子どもたちの笑顔のために募金」へ全額寄付致しました。

どうぞ今後ともあなたのささやかなお気持ちや口そばに「ダーナ募金」子どもたちの笑顔のために募金「それぞれの募金箱を設置しております。(はちすの会ダーナ基金係より)



熊本仏教壮年会

二月は二日に熊本教区、九日に第一ブロックの研修会がありました。ふたつの研修会を受けて心に残っていることは、声に出してお念仏を申すこと、お寺のご法座に行ったことを食事の話題にすること、目に見えて結果が出なくてもあわてないこと。日常の心構えを教えていただきました。



仏壮第1ブロック大会の最後にあいさつをされる陣内巧さん

ペットボトルキャップ

世界の子どもと地球を救おう

ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンを届けよう

ペットボトルキャップ回収 (R4.8月～R5.9月)

回収量 170 kg 寄付金額 510 円

ポリオワクチン 25.5 人分

皆さまのご協力により感謝申し上げます。



覚法寺仏教婦人会

蓮華の会だより



私達の主な活動

・・・(冬より春へ)・・・

昨年の12月12日に(仮)事務所へ無事引越し致しました。新年を迎え1月より本堂改築工事が始まっております。皆さまには、色々ご不便をおかけしますが、出来ることを楽しみながら活動していきたいと思ひます。



○新年会(1月21日)

今年初めて、皆さんと共に(仮)本堂にてお勤めをしました。その後、日本料理「はらぐち」にて新年会を行いました。



○如月忌法要(2月7日)

九条武子様(1887年～1928年)のご命日法要をお勤めし、住職の講話あと今年の活動内容について話し合いました。



○ダーナの日

毎年恒例となりましたが、2月の例会を『ダーナの日』と定めております。今回は、皆さまからご支援いただいた募金を「能登半島地震災害義援金」へ寄付致しました。



○経本入れ作成(3月18日)

本堂落慶法要(約2年後)に向けて、皆さんと一緒に経本入れを作成することになりました。試行錯誤しながら全て手作業で行なっております。

○春のお彼岸(3月10日・20日)

☆10日に「春季彼岸会」「永代経法要」が、定例に合わせて仮本堂にてお勤まりになりました。

【定例法座のご講師】熊本市 浄行寺 盛 忍(もりしのぶ)師

☆20日に「一座法要」が、無量寿堂・新納骨堂にてお勤まりになりました。本堂改築工事につき、仮本堂でのお勤めの為、お斎は中止となりましたが、心ばかりのお菓子を準備させていただきました。

覚法寺本堂改築懇志進納者 (敬称略)
「懇ろなる御志を賜りまして
誠にありがとうございます」

令和七年二月二十八日現在
進納者総数 四十三名様
合計金額 六三、六九二、三二七円

※特別懇志の院号授与希望申請の残六名様分
(残りわずかです。ご希望の方は早めにお問合せ下さいませ。)

※本堂改築懇志進納は、引き続き受け付けております。ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

毎月十六日は、宗祖親鸞聖人の御命日で、門信徒総参拝の日としております。お正信偈のお勤めの後、パンとコーヒーをいただきながらお話ししましょう。どうぞ月に一度はお寺にお参りください。お念珠一つご持参ください。



2024年	
朝のお参りベスト7	
1 粟津美代子さん (356)	
2 入江 緑さん (349)	
3 酒井ノブ子さん (29)	
4 城島 さん (12)	
4 船岡 さん (11)	
6 大塚 さん (10)	
7 森川 さん (9)	

2025(令和7)年度
定例(真宗生活講座)について

覚法寺では、毎月10日午後1時半より、新納骨堂5階の仮本堂にて、定例法座を執り行っています。普段聴くことの少ない、貴重なお話ばかりです。
ご家族、ご友人をお誘いあわせて、是非お寺にお参り下さい。

定例法座年間予定

- 4月 八代組願行寺 鹿本 地上
 - 5月 山鹿組浄光寺 寒香 知龍
 - 6月 山鹿組常法寺 佐々木 高彰
 - 7月 休み
 - 8月 休み
 - 9月 休み
 - 10月 芦北組西林寺 宇ノ木 衣
 - 11月 玉関組正元寺 寺添 真顕
 - 12月 益北組慈雲寺 工藤 恭修
 - 1月 休み
 - 2月 八代組観行寺 武藤 自然
 - 3月 球磨組宣徳寺 藤島 英信
- *7、8、9月と1月はお休みです。

毎月16日7時 (宗祖親鸞聖人の御命日)
お寺に参ろう。 門信徒総参拝

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の合掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37
(三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720

趣味の写真集や自分史を
作ってみませんか?
1冊よりお作り致します。



PRINTING & COPY

株式会社 太陽社

- 企画印刷 〒862-0972 熊本市中央区新大江2-5-18
- 一般印刷物 TEL 096-366-1251
- カラーコピー FAX 096-364-7672
- データ入力



http://www.taiyo-sha.net